



【福岡県】

活動報告 1

第6回九州・山口家庭医療・総合診療セミナー

令和元年6月29日・30日（土/日） 大牟田ハイツ 参加者：39名

2014年に大分で第1回目が始まった九州・山口家庭医療・総合診療セミナーが毎年着実に九州の各地で開催されるようになり、大分-長崎-大分-宮崎-熊本と各地を巡り、福岡県内の医療系の学生が中心となり第6回のセミナーを開催することになった。このセミナーには3つのテーマがある。まずはじめに、総合診療に興味がある学生のネットワークを作り仲間を増やしていくこと。そして、地域で活躍している様々な職種を理解し、医療の多様性を知ってもらうこと。最後に総合診療に興味を持った学生が九州の枠組みを超えて全国から集まる学生のセミナー（夏季セミナー）盛り上げる！そのサポートを九州・沖縄ブロック支部で行なっている。セミナーとしては、「多職種連携、チーム医療ってよく聞くけど、どういうこと？～ Learn with, from and about each other～」や「地域医療って田舎だけなの？どこだって地域でしょ！地域医療の正体は何か？」、「臨床推論～しくじり体験から学ぼう！～」、「3年先・5年先・10年先のキャリアをイメージしてみよう。～プライマリ・ケア（全人的医療）を提供する医療人になる！～」を主に参加型の形式で行なった。自由記載のアンケートでは“ほかの職種のことをそこまで詳しく考える機会がなかったから、現実味があって、ためになった”や“離島における医師の役割について、都市部とは異なった角度から知ることができた”、“年齢をこえて職業をこえて、九州の各地からいらっしゃった方々と知り合えてとてもステキな時間を過ごすことができました。自由な時間ももしっかりもうけてくれて、質問や相談をたっぷりすることができました。密な時間を過ごせて、とても充実した2日間となりました”などの感想も認められ、当初予定していた目的も達成できたのではないだろうか。

(760文字)





活動報告 2

小児救急初期診療プログラム (小児 T&A)

令和元年7月7日(日) 参加者：28名 久留米大学 福岡サテライト

福岡天神にて一般社団法人こどものみかたと共催で第126回小児T&Aコースを開催した。参加者に3名の薬剤師と3名の看護師(15名中)を含む多職種とともに学ぶコースとなった。それぞれの立場から眺めた「小児医療」に対する捉え方について発言し、また自分とは異なる職種の人々の発言や考え方に影響されているのが、コースのなかでうかがわせる表情や仕草(メモをとる、前傾で聞いているなど)から容易に感じ取ることができた。また、“今”の自分の環境(場所や施設の規模など)に合わせてロールプレイが進んでいくので、講義で得た知識をその日からすぐに役立てられるように個々の文脈を理解しながらファシリテートしているインストラクターの熱意も感じられる有意義な時間であった。コース終了後のアンケートでは、朝9時より始まったコースは気がつけば17時を過ぎていたという意見も多く、普段から小児診療に関わっていても“普段疑問に思っていることも講師の先生に気軽に質問できて良かった。トリアージを系統的に行うことの重要性を改めて勉強できた”とあり、とても充実した1日となったことが伺えた。

(474文字)



【大分県】

「第2回日本プライマリ・ケア連合学会大分県支部学術総会」

日時:2019年7月20日 参加者数:53名

唐津市民病院きたはたの大野每子先生に「家庭医をめざしてジャングルジムをのぼったら」と題して、ご講演を頂きました。先生自身の歩んだ道を示して頂きながら、キャリアはジャングルジムのようにまっすぐ上に登るだけでなく、横にいたり下がってみたりしながら、でもその様々な経験が今につながっていることを教えて頂きました。多くの方から「勇気づけられた」という声が聞かれました。

症例発表会は衛藤祐樹先生、栗林良子先生、平林礼奈先生、黒田明子先生、姫野浩毅先生から、地域ヘルス・プロモーション、認知症と運転免許、メンタルヘルス、多職種連携、ACP と総合診療らしいバリエーションに富んだ発表が行われました。個人的に面白かったのは、運転免許返納への反応をキューブラ・ロスの死の受容過程と似ていると表現されていたことで、人が困難を受け入れ、乗り越えていく上では同様の過程が見られることに気づかされました。

皆様のご理解とご協力により盛会裏に終了できましたことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。



【鹿児島県】

(1) 第8回九州総合内科セミナー

日時:2019年7月6日(土)～7日(日)

場所:鹿児島大学桜ヶ丘キャンパス第1講義室

主催:鹿児島大学プライマリケアサークル KAAN

共催:宮崎プライマリケアサークル MPCC

後援:日本プライマリ・ケア連合学会鹿児島県支部

講師:

(1日目)

- ・平島修先生(医療法人徳洲会奄美ブロック 総合診療研修センター長・指導医)
- ・望月礼子先生(鹿児島大学救命救急センター 奄美プロジェクト 特任講師)
- ・能勢裕久先生(川内市医師会立市民病院 脳神経内科 部長)

(2日目)

- ・松本謙太郎先生(国立病院機構 大阪医療センター)
- ・徳田安春先生(群星沖縄臨床研修センター長)
- ・小松真成先生(総合病院 鹿児島生協病院 総合内科)

(2) ポートフォリオ検討会

日時:2019年7月13日(土)17:00~18:00

場所:ホテルタイセイアネックス3階会議室

主催:鹿児島総合診療合同勉強会運営チーム

共催:日本プライマリ・ケア連合学会鹿児島県支部

内容:ショートレクチャー、ポートフォリオ検討会

(3) 第5回離島医療談義

日時:2019年7月27日(土)17:00~20:00

場所:よかセンター7階第一会議室

主催:離島医療塾

共催:日本プライマリ・ケア連合学会鹿児島県支部、鹿児島大学離島へき地医療人育成センター

講演:

1.「鹿児島の離島の小児医療の現状」

鹿屋保健所長 亀之園明

2.「鹿児島県熊毛地区(種子島・屋久島)における小児医療の現状と新しい展望」

種子島医療センター小児科 岩元二郎

3.「鹿児島県立大島病院の小児医療の現場から」

鹿児島県立大島病院小児科部長 今村真理

4.「NPO 法人こども医療ネットワークについて」

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科教授 河野嘉文

(4) 第42回鹿児島地域医療教育報告会

日時:2019年9月7日(土)9:00~16:30

場所:鹿児島大学医学部 第2講義室

主催:鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療学分野/離島へき地医療人育成センター

鹿児島県くらし保健福祉部 保健医療福祉課医療人材確保対策室

共催:日本プライマリ・ケア連合学会鹿児島県支部

後援:鹿児島県医師会

内容:地域推薦卒医学生1・2年生及び3年生が夏休み中に離島・へき地の医療機関等で実習、調査研究を行い、その内容を発表し情報交換をする報告会